

平成 30 年度 川井地域ケアプラザ事業実績評価

平成 30 年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員に欠員が生じた期間がありました。職員体制の安定化を図ってください。 ・新たに地域支援記録シートを導入するなど意識を高く持ち、日頃から5職種（地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）での積極的な連携・情報共有が行えています。その結果、部門の枠を超えた繋がりを活かした事業の実施ができており、地域住民はもちろん、地域の施設や医療機関等、多くの人が関わる拡がりのある事業となっています。 ・地域の人からは、部署に関係なく誰であっても相談できる「ケアプラザの職員」として見られているという自覚を職員一人一人が持って日々の業務にあたっており、ケアプラザ一体となって地域の人々に寄り添おうという姿勢が強く感じられます。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・近隣の様々な施設・団体等と連携して事業を実施しており、事業内容についても、福祉・保健的な視点を踏まえて目的をしっかりと意識したものとなっています。 ・自分で考える力・思いやりの心を育むという視点から小・中学生を対象とした福祉教育や、学校やボランティアと連携した学習支援などに積極的に取り組んでおり、福祉と教育の結びつきへの貢献が評価できます。また、障害分野に関する事業も多く行っており、障害児・者の支援、地域への障害理解の促進などにおける貢献も評価できます。 ・積極的に地域に足を運ぶことで地域の状況理解や情報収集を進め、現状把握・ニーズ把握をしっかりと行ったうえで課題解決に向けて取り組んでいます。 ・開所から 20 年が経過し施設における設備面での課題も出てくる中、施設を気持ちよく利用して貰うために何ができるかを職員で知恵を出し合い、工夫して施設の環境整備を行っています。 ・夜間帯の貸館の稼働率を上げるために、実施事業の対象者・内容を創意工夫して取り組んでいます。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・多職種と連携し、きめ細かい丁寧な地域支援を行うことで、具体的な生活支援の取組の創出につなげることができています。 ・川井地区3か所で実施している移動スーパーの周知について、今後はこれまでの取組結果と併せて周知を図り、持続可能性を高める支援を期待しています。
運営事業 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・積極的に地域に足を運ぶことで地域の状況理解や情報収集を進め、現状把握・ニーズ把握をしっかりと行ったうえで課題解決に向けて取り組んでいます。 ・今年度は精神障害・疾患のある方への地域の理解を重点的に行っていました。地域の特性をふまえ引き続き普及啓発、ネットワーク構築等の取り組みを期待します。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	